

水源禪師法話集 104

(2019 年 4 月 19 日 大阪合宿 1 日目)

2019 年 6 月 2 日

一乗禪の会



エチオピアのラリベラ岩窟教会群にて

目次

水源禅師法話

瞑想指導、座り方.....	3
「如来真実義」は法随観・空を体験しなければ解説できない所にある.....	4
安慧菩薩様の最も大切な大乘のアビダンマの経文.....	5
行をしない限り安慧菩薩様の一行か二行が分からない.....	6
座る事によって慈悲の心が出来、慈悲の心がなければ浄化出来ない.....	6
正法眼蔵の二つの意味.....	8
千年先まで観えるお釈迦様.....	10
仏の教えの凄さ.....	11
無量の宇宙が観えてしまう仏法の凄さ.....	11
エチオピアの不思議な木に会って水源禅師が体感出来た「如来」.....	12
水源禅師が十数年前に作られた「無所得」と言う判.....	13
樂山の大仏様が作られた由来.....	14
慈悲の心をキャッチして実践する事が出来ない現代教育の問題.....	15
無量の時間帯の体験を通して最高の知識を与えてくれたお釈迦様.....	17
お釈迦様の本当の体験が書かれてあるジャータカ物語.....	18
大乘とテーラワーダは二つ合わさって完成する・ 「旅」によってそれが分かる.....	19
人間の生きていく上で大切な事.....	21
回向文の説明.....	23

水源禪師法話

瞑想指導、座り方

【司会者】

じゃあ、座り方で何か分からない事とかありますでしょうか？
大丈夫ですか？

【参加者】

分からないと言うか、初めてなのですが、

【司会者】

初めてですね。
Qさんモンゴルでお会いしたのですね。

【参加者】

はい、一度。2年前くらいですかね。こちらに伺わせて頂いたのですが。

【水源師】

まあ、座り方は南伝のこっち（足を組まない座り方）で良いです。本当は大乗の日本とか中国、韓国、チベットは、ヨガチャラというヨガになるからこういう座り方（半跏、結跏）をしますけれども、結跏趺坐とか。でも長時間座っていくには、南伝の場合は法随観とか長時間座るので、あのこれで十分です。

何故かと言えば、私も座禅やった時はこれか結跏趺坐でやっていました。ずっと。この時は大体一時間、まあ二時間せいぜいやってお終いですね。そうしたら、大体無理が来るから。やっぱり深い瞑想に入ればね、無理はダメなのです。無理な座り方をすれば必ず崩れるし、滅多に上手くいかない。

ところが、これでやっていたら意外と楽々に行けるのは、これは実は2600年前にお釈迦様が一般の方にはこの方法で教えたはずで、それで結局、大乗も小乗もバジュラヤーナ（密教）もテーラワーダ（上座仏教）も究極的な所は同じ事を言っているのだけれども、それが時間が経つにつれて、あーだこーだと言っていますけれども。今日それを後で説明します。

「如来真実義」は法随観・空を体験しなければ解説できない所にある

経典を深く読むには、やっぱりお釈迦様が涅槃に入る前に、四人の比丘に異空時間で教えた訳です。そこは一般の人から見れば、一秒が二秒か五分か、それで四人の比丘は、その空間に入って、サティパターナの究極を教えてもらったはずです。

それで最後に教えられた比丘は金剛般若波羅蜜多のスボダナなわけです。これが千年後、カブールの方から入って来て祇園精舎で教えてもらったというのだけれども、(須菩提) スボダナ、スボダイという、スボダナというのがインドでそう呼んでいます。

この方は、お釈迦様が死ぬ三か月前に、「最後の比丘が現れるから」とアナンダに言ったその方であり、最後の比丘になられた方です。お釈迦様が涅槃に入る前に教えられて。これも異空時間で教えた。ここの中がなぜ大切かと言え、いかにして阿耨多羅三藐三菩提を手に入れる事ができるかという。般若心経の究竟涅槃、阿耨多羅三藐三菩提というこの中に、道幻があるわけです。その事も今日お話しします。

この道幻を分かるには、どうしてもさっき言った様なサティパターナ、特に法随観をしっかり分からなければ、中観、智度論、唯識論も全て分からないようになっている道幻。本だけでは絶対に解説出来ない所にあります。

特にタサガタ (Tatha—Gata、如来) タサタ (Tathata 真如)、タサ (Tatha 真如)、ナモータッサ (Namo Tatha) 、真如、これが絶対にそれを通してでなければ観えないようになっている。だから、未だに真如という事を明解に説明した学者は誰もいないし、言えないし、一番近いのはタオ、道、茶道、華道の道、wayが一番近い、中国で発展したその事であって。

タサガタ、タサというのは結局、有限の世界でガタになったのは私達の歴史上ゴータマ仏だけです。インドの方ではそうなのです。だから如来というのは、タサガタ。だから Namo Tassa ナモータッサという。ガタは、ブッダその方。だからタサの事を Bhagavato Arahato Sammā Sambuddhassa バガヴァトー アラハトー サンマー サンブッタッサが、ガタ、タサガタ、如来と。それでこの如来というところは百千万劫難遭遇、我今見聞得受持、願偈、願い、そこを完全に如来真実義この如来真実義の事。

ここに到達して、その奥義は何かと言え、最後の一切有為法、如夢幻泡影、如露亦如電、応作如是観の如夢幻泡影、タサの事。これは体感しかできない。という事を阿耨多羅三藐三菩提そこに到達する方法をこの中に書かれていまして、もうここを発表するのはもうあなた方がそこに到達できる状態になったから発表します。

その奥義は、これが二十数年前に中国のお寺で手に入れた安慧菩薩が言われたことを、三蔵法師玄奘大師様が中国語に書き写したもので、ちょうどこの大きさ（1m x 40 cm）の石にプラス大体、厚さ 10 cm の石に刻んで書かれたもので、この全經典がこのお寺に一万数千体あります。ネール首相が Sanskrit で書かれた石の經典がインドにありますので、石の漢字經典全部を金の重さで交換してインドに持って行きたと申しましたが、けれども毛沢東が「いや、それは中国に置きます」と。

その時、私がそのお寺へお参りに行った時に、何故かこの最も大切なアビダンマとその般若心經の意義がここに書かれてある經典の墨撮りを手に入れた後、その石に書かれた經典は殆どまた山の洞窟の中に埋められて、今はこのお寺にあります。そのお寺の名前は雲居寺です。ここのお寺でお参りすれば全ての願いが叶うという。北京郊外 70 km のところにあつて、中国の国宝のお寺です。

【司会者】

何と読むのでしょうか？雲の居る、雲居寺（ウンイスー）

【水源師】

うんいすとか言っていた、中国語でここ、ここ。
それでなぜか手に入ったお経です。ここをしっかりと読めば唯識論、中觀論、智度論とか難しい言葉がここに全て書かれている中で、一切要約して書かれています。それでこれを読み切るには、やはり法随觀と空を体験すれば分かります、という事で。

安慧菩薩様の最も大切な大乘のアビダンマの經文

この世界は絶対に頭では分からない世界で、安慧菩薩様が実は空が分からずに自殺しようとしたわけです。それでアラハトに出会って、その人の名前がどこかに書き写してあるけれども、それで空の世界を知る事ができて、この最も大切な大乘のアビダンマの經文を、インドで発表して、それを玄奘大師様が中国語に訳して、法相宗というのが出来て、中国で滅びて、日本では薬師寺、興福寺、また東大寺、全てのお寺がここに頼っているわけです。

でもこれを解析する人が日本では、見当たらない様です。このお経も、実は、失われたというお経です。チベット經典の中に、このお経の事が書かれているという事を、確か高野山大学とか大谷大学、龍谷大学、京都大学、仏教大学とかそういう方々が、チベット語で書かれた經典を見つけたと。それを書かれた安慧菩薩の經典は失ったとここに書かれてあります。これが經典仏教の現状であつて、

この方達でさえこれが手に入らなかったわけですね。それが何故かという、これを読めば最も知りたい事がここに書かれています。

行をしない限り安慧菩薩様の一行か二行が分からない

まあそういう事で、座り方はこれで宜しいし大体ね。あとは自然に複式呼吸で鼻から吸って鼻から出すと、それをアナパナ。アナパナは非常に大切な瞑想法で、達摩多羅禅経の中に法随観とサティパッターナの事を書いていますけれども、この漢文を読んでも結局、殆ど何を意味をしているか殆ど読み切れない。修行すればここに何が必要で何が欠けているか分かります。(北京大学の人文の教授に見せましたが、全く理解できませんと言われました。)

そのお釈迦様が四念処、サティパッターナに依ってだけ涅槃に達すると。そのサティパッターナの法随観がこの一冊になってそれで、ここ達摩多羅禅経に書かれているのはその一行か二行の事。

だから、この行をしない限りこの一行か二行が分からないわけです。これが千年前に消え去ったお経で、これが何故か手に入るという事を皆さんに教えなければ、経典をやれば分かるものと、ところがこの中を読めばこの一冊(パオの教科書)を終了しなければ読めないわけです、達摩多羅禅経一行か二行が。という事でこの中に私が十の瞑想を教えたその中の事もいっぱい書かれています。

だから結局、ただ座りなさいと。解脱したという事で中身は未だに発表されていない現状で、どういう風にすれば良いかと。その最初の段階は、ここではやっぱりアナパナサティ。sati サティというのは sadda サッダ(信)・sati サティ(念)、信念という心からお釈迦様に帰依した時に、その念によって信心によってその念が発すると、念の事＝サティ。サッダ、サティが無ければ(般若) パンニャが発生しない。結局、その事を非常に大切なパンニャのタサの事をここに最初の方に書かれてあります。心の仕組みがこっちに十の仕組みと言うのだけれども、実はもっとあるのです。という上座仏教の方はこの手法を持っていたわけです。

座る事によって慈悲の心が出来、慈悲の心があれば浄化出来ない

大乘の方は、この経典が無かったわけです。この時空の関係と因果関係ね、その因縁の、どういう風に因縁が発生するか非常に大切なところ。一刹那と無限の時間帯の事もここに明快に書かれて、心の作用も書かれているという事で皆さんが「分からない。分からない」というのは当然です。ここの繋がりを明快に説明

して指導してもらわなければ頭では不可能。

最も簡単なのは、今まで皆さんと一緒に座って、そうして座る事によって心の浄化というのは慈悲の心がどんどん出てくるという事。慈悲の心が無ければ浄化が出来ないという事。

なかなかこの慈悲と言うのは難しい事なのです。その中で一番の大敵は怒りですね、怒り。だから忍辱という事で私もよく失敗します、怒りの心が出てきて、特に近い家族に対しては。甘えですね、それでもやっぱり怒りの心は抑えなければいけないという事。これが一番の大敵。私にとって。まあそういう事を踏まえながらあとは座って行きましょうか。座り方は結構です、無理しないで。

何があってもやって行けば必ず良い事がありますから。なぜかと言えばこの座る事によって不思議と慈悲の心が出てくるのですね慈悲の心が不思議と。それが正しい眼で観ればね、その正しい眼で観る方法をここにちゃんとあります、あとで説明しますから。それで必ず次の世では、良い時空に生まれる事になりますから。

これは不思議な事です。座るという事は、非常にこの地球の生命体にとってもあなた方は、協力してあげているという深い意味があります。自分というのは実はない、アナッタ(anatta 無我)、アニッチャ (anicca 無常)、ドゥッカ(dukkha 苦)、アナッタという事が、本当は宇宙の原理でただ座っていけば、あなたの心が全部通じますから。ということは、ヒラヤーナもマハヤーナも差別無し。アナッタであるから。それを大乘船とか小乗船とかそれが間違い。

皆さんちょっと頑張って最初つらいけれども、ここで一生懸命頑張って家では 30 分でも良いです。



正法眼蔵の二つの意味

樂山の正法眼蔵。これが有名な日本で言う曹洞宗の正法眼蔵の意味を説明します。それから、これが非常に大切な確信中の確信の大乗のお経、これは密接に南伝の究極の所にも繋がっています。だから南伝も北伝も差別がないわけです。

それから、私がとても尊敬する達磨大師様の真影です。これは少林寺に行けば達磨石と言って同じ様な顔が映っています。これは大博物館に今でも存在して偉いお坊さんがこれを模写したものであって、まあこれを皆さんにお渡し下さい。ちょっとゆっくりして私が説明します。

まずは正法眼蔵。これを造られたのは、海という字と通じるという字＝海通（ハイトン）というお坊様です。これが現在では世界一大きい大仏、バーミヤンの仏像より高くて四川省の樂山という所で揚子江にあります。



樂山大仏

下の方に小さく、何か点々とありますけれども、これは人間です。人間の大きさです。下の点々と蟻の様に見えるのは。昔は、この上に屋根がかかって、その今、黒く霞んでいますけれども。これが金の衣を着て、今は剥げて、こういう感じですが。弥勒菩薩様ですね、弥勒様。

正法眼蔵と言え、二つの意味があります。この方は人を救いたいが為に、ここに巨大な弥勒様を造った。一つは、将来、この世で涅槃に行けない方々は弥勒様が出た時には、全て涅槃に上げてしまうという願い。

それから、ここは非常に水の流れが激しくて、よく船が沈む所なので。何故そこで船がいっぱい通るかと言え、そこでその昔、塩が取れたわけですね。昔、塩というのは、もの凄く高価なもので、塩が無ければ食事も出来ないし、塩で給料（サラリーはエジプト語の Sal の Salt、塩）よりを払ったと。エジプトでも塩というのは非常に高価なものだったので。だからチベットでもバターミルクには塩を入れて飲む。砂糖ではなく。砂糖というのはもっと高価な物だけれども。という風におもてなします。

もう一つの正法眼蔵というのは、正しい法を観るには、究極のヴィパッサナー、結局、この眼ではなく心眼、内の眼で観る、ヴィパッサナーですね。観自在菩薩のジャーナを得るという事はヴィパッサナーによって正法が観えると。

北伝の方は知らなかったわけですね。どういう風にやれば良いか。なぜかと言え、鳩摩羅什様が、観世音菩薩行深、なぜそれを言ったかと言え、四梵天住という行ですね、ブラフマビハーラの中にあります。それによって全ての世界が観えると。確かにそうなのです。行法でやれば。

ところが、そこに入る前に玄奘大師様は、観自在というわけ、というのは五自在を使って定に入るからです。それで観自在菩薩としたわけです。だからどちらも見方が違うけれども正しいわけです、実は。ところがこの行法を知らない場合

は論争を起こすわけですね。観世音菩薩、観世音か観自在かどちらか正しいか？
というのは、この行法をやっていないからただ頭だけでやってしまうからです。

この行法は奇跡的に、ミャンマーのパオの僧院だけが二千六百年持っていたわけですね。その昔、持っていたのだけれども全部消えてしまって、なぜかといえばこのお釈迦様が涅槃に入る前に須菩提（スボダイ）スボダナ、須菩提様長老が全インドの全ての学校を、生涯をかけて全部回ったわけです。最後にお釈迦様が涅槃に入るという事で駆けつけたわけです。

その時に、その三か月前に最後の比丘が来るからという事をお釈迦様が アナンダ長老にお話していたわけです。その時に最後スボダナ。バリー語です。大乘では須菩提（スボダイ）同じ事です。その方が、お釈迦様が涅槃に入る直前にその方が「お釈迦様にぜひ会いたい」と。そうしたら「いやいやいや、今涅槃に入るところだから遠慮して下さい」と。けれどもお釈迦様はちゃんと分かって、いや呼びなさいと。

須菩提（スボダイ）長老が私の最後の比丘だと。最後の比丘の戒を与えました。一番最後ですけれども、一番勉強された方なわけです。

それを待っていたわけです。それでこの法を教える時には、普通のこういう話ではないわけです。お釈迦様はその前にインドで最高の行を持ったヨギの方ですね。最高の行法。その行法は、その聖者は普通の人には会わないのです。洞窟に座って、お釈迦様が来た時には会ってその異空次元で究極のその最高の行法を教えたわけです。

ところが、その聖者はまだ涅槃に行く行法、それは生老病死という事を通過していないわけです。しかし、それだけのものを持っている。異空時間でのやり方をお釈迦様は聖者様より学んだわけです。

なぜかと言えば、その最後の涅槃に入るもう最高の宇宙の智慧は、その異空時間でしか教えられなかったわけです。だから一般の人にとっては、頭下げてこう観えないのだけれども、本人はお釈迦様と対等で異空時間で全てこれを受け取っているわけです。まあ人間の死ぬ直前でという事。

その前に四人の比丘に又異空時間でそのサティパターナを伝授したわけです。それでそのサティパターナを伝授したのが、ダンマヌパッサナー、チッタヌパッサナー、ヴェーダナーヌパッサナー、カヤヌパッサナー四つ、だから四人。だから四人とも顔を見合わせたわけですね。これはインドの方の情報。この事はこっちの方には伝わっていない。インドの方がインドの文献で調べてそれを発表したわけです。

サンスクリット語とバリー語は殆ど変わらないわけですね。ナモーダッサ、とナモータサタになるわけね。という殆ど一緒。だから今でもカルカッタの人は、半分以上はバリー語で話すと。だからよくお釈迦様の経典は読めるというわけで

すね。

千年先まで観えるお釈迦様

まあそういう事で。なぜこれが存在し、それだけ大切な事かと言いますと、如何にして阿耨多羅三藐三菩提を得られるかという事がここに書いてあります。それが、その後、時空が千年後に達磨大使様が来て、その後の二百年だから、千二百年後にこのお経を聞いただけで悟った方が六祖大師の慧能様です。

というお釈迦様にとっては、もう千年先が観えるわけですね。どうしてもこの法を北伝の方から渡さなければいけないという事です。

お釈迦様から28代目の菩提達磨様が南伝の方を通して、チッタヌパッサナーを達磨大師様(bodhidharma)へと。チェンナイの方でスリランカからずーっとジャカルタから上がって行ってベトナムサイゴンからクアンドン広州に入っていたわけ、最後は、少林寺。

それで、慧可様に法を伝えて、そしてパミール高原をかえってカブールを到達してインドに帰って行かれた。という風に仏教は壮大な話しがあるわけなのです。だからこれが全部繋がっているわけです。

だからお釈迦様はそれほど凄い方で、千年先の事をちゃんと観て、須菩提(スボダイ)様が来るのをちゃんと待って伝えなければいけない。その前にもう最高の行法をインドのヨギの聖者がたった一人お持ちになる、最高峰の法を、それを受け取って死ぬ直前にそれを使うわけですね。涅槃に入る前に。

だからそれをね、文学とか言葉では無理なのです。でも、こういう言葉があるから一般の人がそういう世界に入って行けるくらいであって、これも無ければ入って行けないから。

だから、お釈迦様の三つの願い「私の話をよく聞いて下さい」と「そしてそれをよく考えて下さい」とでそのあと「瞑想してよく体得して下さい」という事なわけですね。

仏の教えの凄さ

だから仏の教えというのは、想像を絶する凄さ、なわけなのですね。だから人間の大きさがこれくらいで、仏というのは人間の形をしているけれども、実はこれくらい凄い事だという事。だから奈良の大仏も実はお釈迦様の事で。なぜ毘盧遮那とか盧遮那と言うのか。

毘盧遮那というのは、結局、太陽の様に光を出すと。それはニミッタの事。それが無ければ五自在に入って行けない。それが無ければ、このサティパターンナー

の法随観が習得出来ない。それが無ければオンサンマヤサトバン、サマタ、ジャーナを持って初めて四梵天住の世界に入って行って世界が観えると。それで観世音菩薩。それで玄奘大師様は観自在菩薩、五自在を使わなければ行けないと。確かにその通り。だからどちらも間違いはないわけです。

無量の宇宙が観えてしまう仏法の凄さ

ただ体験によってだけしかこういう經典は読めないわけです。だからコンピュータ、スーパーコンピュータでやっても解析は出来ません。というのは、本題に入れば、人間の心というのは、この安慧様が自殺をしようと思ったくらい「空を知りたい」と。空を知らない限り何も出来ないのでからね。空を通過して sotāpatti ソタパナに入っていくから。ここに心の事を書いています。

つまり現在の最高の数学者、過去二千年、無限と整数との事を未だに解決していない。ところがこれは無限の事を言っているわけですね。つまり一念即無量永劫、一念の中に無量の時間帯があるという事がここに書かれてある。

これがもう全てを超越する五次元、偉いお坊さんがちょっと一つのコップをくれたら全部宇宙を入れてあげると。そこらの話ではなく、無量の宇宙を入れてしまうと。お釈迦様がね。この地球を全て粉々にして砂にして、その数のくらいこの宇宙はあると。

私たちの頭は、百年前はパロマー天文台で宇宙を観て銀河系を宇宙だと思っていたわけです。今はハッブルtelescopeでこの銀河が百兆か六十兆あるという。その数ではまだダメで、これでも一つの大宇宙でしょう？大宇宙、三千大千世界。この地球を粉々にした数どれくらいあると思います？それくらいの宇宙があると。という事が観えてしまう。それだけ仏法という事は凄い事。

だから、こうして人間がこれくらい小さいけれども仏になればこれくらいでかいと。だから大仏というのは実はお釈迦様の事、バーミヤン大仏も奈良の大仏も全て人間の頭では計り知れない。

密教ではまず {オン ボウジシッタ ボダハダヤミ}、菩提に入りましょうと。仏の教えを聞きましょう、仏に近づきましょう、それで次 [オン サンマヤサトバン]ジャーナを持ちましょうとサマタ。だからそれを止禅と言います。サマタ、サマディ。それを「何宗派、何宗派?!」とこうやるしかないわけですね。

なぜかと言えば私達の頭はもう相当いかれてしまっているから、そういう風に何宗派、これ宗派と言うしかないわけです。

日本では法相宗、法相、法の相ですね、宗、うわ一凄くて難しいとか、この事。ここの無限の時間帯の、この実態、これがタサの本源の事で如来真実義、だからもう言葉では言い表せない。ただ最後その事を一切有為法、如夢幻泡影、如露亦

如電、応作如是観と言うしかこの四句でしか表せない。如来と言うのは。という事を説明しなくてはいけないわけですね。ナモータサとかタサガタ、如来、だから如来仏。それはそうだけれどもその言葉だけでは皆さんピンとこない。今私の言葉でもまだまだ足りないけれども。

エチオピアの不思議な木に会って水源禪師が体感出来た「如来」

それはね、今回エチオピアに行ったのは、南米で瞑想していたらやっぱり不思議な木が出てくるわけです（ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の旧約聖書の Enoch 編がエチオピアで発見された経典の中の不思議な木が 仏教の奥義に繋がっていて、ヒンズー教もここを求めています）。それでまたカブール、アフガニスタンに行かいけないというビジョンが出てくるわけです。

なぜそこに行かなければいけないかといえ、結局そこで究極の虚空蔵菩薩の虚空の究極を伝授してくれたわけなのですね。そこですーっと。それは凄い。その力を持ってエチオピアに行ってこの不思議な名前も知らない木を探しに行く。木です。私が「こういう木にお会いたい」と、「いやあこういう木は多分セミマウンティンにあるよ」と、それも高いお金を出して山に上がらなければいけないので、殆ど行く気はしなかったけれども、何かの因縁でそこに行き、また苦しい思いして上がって行って寒い思いして山に泊まって。それで、やっぱりそこで完全に「如」が体感出来たわけですね。

だから天界は時間が来れば、瞑想している最中に観てくれるわけです。だから私たちが頭で考えているようなそういう浅はかな世界ではないわけです。

だから樂山大仏弥勒菩薩の大きさと人間比べてみて下さい。ところが私たちは、仏を分かる、皆さんが仏を分かるというのでしょうか？仏はこうだ、だからもうそれは辞めて下さいと私は言っている。ただただ座って下さいと。そういう事によって自然と慈悲の心が出てきますから。

水源禪師が十数年前に作られた「無所得」という判

まあそういう事で。美味しい所はまた明日の質問に取っておこうかな？この内容を全部説明するよりも。全部凄い事を書いてあるのですよ。これは。

その昔、お釈迦様が大灯明燃燈仏の所でね、無所得を獲得。本当の無所得という事が分かった。だからここに無所得の判を押しています。無所得。私がお経を見て分かってやったわけではなく、ただ「無所得」という、とても大事な言葉が大好きで。

究極はやっぱり、燃燈仏の所でお釈迦様はスメナという名前でした。その時、

無所得を体感したという所なのです。こういう風に仏法というのは特別、偉い先生に出会ったから、全部分かるというのではなく、勿論私はこの世で凄い先生ばっかり出会ったけれども。

やっぱりその中で教えてくれるわけではないのだけれども、凄いエネルギーを与えてくれるのです。言葉ではもうこの世界は説明出来ない。どうして私が十数年前にこの無所得という判を作りますか？今作ったわけではない、作るわけでもないでしょう？それがちゃんちと作って今バーンと押している。

【参加者】

先生、無所得というはお金が無いという事ですか？

【水源師】

違います。

【参加者】

違いますか？

【水源師】

とんでもない。

【参加者】

実はちょっと分からなかったのです。

【水源師】

まあまあ頭で考えないで。

【参加者】

ああそうですか。

【水源師】

だから皆さんに差し上げましたこのお経の中で読んでみて、分かっても分からなくても良いです。その中の何か光り輝く字があればそれがあなたにとってとっても大切な道引き ですから。まあこういう事でどうでしょうか？

だから私たちが生きているこの短い生命体はまるでおとぎの国で生きている。摩訶不思議なおとぎの世界なのだけれども、全くそれが観えなくて、これが普通の世界だと思っている。全く分からないというおとぎの世界で住んでいるから、

修行が出来るわけです。ところが逆にこういう風に全て分かった場合には、分かるからもう修行が出来ない。これ神通、だから神通はお釈迦様は使ってはいけないと。ところが西洋の人は神通にあこがれるわけですね。ブラックマジックとか何とか、空を飛ぶ。それよりも本当の法を得て下さいと。というのは実はここは摩訶不思議な世界に私たちは生きている。それが全く観えないところがまた不思議。

楽山の大仏様が作られた由来

【司会者】

先生、楽山の大仏をもう少し詳しく。和尚様は、目をくり抜いて…

【水源師】

そうそう、もう一つの話は、海通と言う和尚様が、実はこう一生懸命やっていたけれども本当は一人でやっていたみたい。一般の話では何かお布施をもらって、それは後の話で。

これでは一生かかってもこんな巨大なものは一人で出来ないと。そこで、その代官に「どうかお布施して助けて下さい」と。すると代官は、「まあお金を？また乞食坊主が来て」と。そんなお金出したくないから「じゃあお前の目をくり抜いてみろ」と「そうしたら助けてやる」と。その時、ぼーんとくり抜いたわけ二つの自分の目球。それで、その代官様がびっくりして、これは大変な事になると。これで、もし自分の言葉約束を守らなければ。地獄にもうまっしぐら、まっしぐら。だから OK。OK という事になって、莫大な財宝を出して、それでまあ他の人がお金を出して出来たという事です。弥勒菩薩で将来は弥勒の世界に行って全て涅槃に入るという事であって、これは代官とか民衆の力で作られたらしい。それで良いですか？ Rさんは最終日に来られるかな？

【司会者】

はい。

慈悲の心をキャッチして実践することが出来ない現代教育の問題

【水源師】

だから結局、正法眼蔵というのは、それを実態として観てしまうわけです。ところが私たちの頭はちょっと本当に殆どいかれてしまっているから。有名な話があるのでですよ。

五十年前か、日本でも有名になってね、トロッコがこうまっすぐ行く時に分岐点があるわけ、一つの方は五人が作業しているわけ、もう一つの方は一人、それでどっちをあなたは選ぶか？という論法があるわけですね。五人を殺して一人を助けるか、一人を殺して五人を生かすかという事を確かオックスフォード大学の先生の倫理の問題でね、どうしますか？という事だけれども、あなたたちはどう思いますか？

私は回答を知っているから、これは何ていうの？あまり良くないのだけれども、皆さんを試す事になっているけれども。私はまず脱線させたら良いのではないかと、そうしたら全部救えるとそう思ったわけですね。

この理論は非常に日本で一回有名になった話みたいで。結局ね、この機能があるわけですよ、線路を右左に動かす、この機能の事は私たちは分からない。ただ分かるのが右左しか分からないでしょう？

ところが、線路を動かしている人は機能が良くわかるわけです。ここが学者の大問題で、仏法とは違う事で、仏法の場合はちゃんと説明するわけです。機能があって右左の中間にレバーを持って行けば、結局右でも左でもない中間になってしまうわけ。中間になったらトロッコがそこに引っかかって脱線してしまうわけです。実際にそうなのです。という事を教えなくて、テストしているわけです。

ここが現代の教育の大間違いなわけ。それで皆さんに問答を出してしまうとか。それがオックスフォード大学の先生だから、ああ、ところがこの中間に持って行けば全部外れると、もし外れなくてもその前に石を上げておけば脱線する可能性がある、それで中間に持って行って、それでもだめだったらもう飛び乗って、その上に乗って石を投げて「お前らもう出ていけ、でないともう行くよ～」と。

ところがトロッコには必ずそういう機械にはブレーキがあるわけですよ。そういう事も教えないわけ。これが現代教育の大変な疾患であるわけです。で皆さんは頭で、ああ、どうしようか？となる。トンチになってしまうけれども、これは空論になります。仏法はそれでは駄目なわけです。本当の事で、本当の事を教えたならもう明快に分かるでしょう？

ところが、そういう学問をしている人は機能も分からないし、ただ右左しかない。そういう事でやれば一般の私たちは頭が狂ってしまう、あらどうでしょう？と。ところが機能がしっかり分かれば、そういう車を設計するとかトロッコを設計する人は必ずブレーキを作る、でなければ動いてしまうでしょう？それも説明していない。

これが現代の私たちの教育の大問題。テレビではあーだ、こーだと面白がってトンチをやるけれども、結局、何の意味もないわけです。というよりはこうして

本当の事を学んで、本当に心が進化していく。

進化というのは如何にして慈悲の心をキャッチするかと、それで実践するかという事であるわけ。そういう心がなければ、「さあ今日はどんなに暑くても校庭で皆さん走って下さい」と「これは教科であるから」とそして子供を殺したでしょう。去年、小学生を。これはもう国の大問題。頭も何も無いし子供殺しの教育がどこにありますか？このトロッコ問題がここに入ってきます。

もう融通が利かなくなっている。だから教育が人を助けるべきが、教育が逆に人を殺すとか、破壊する方向に走っている。先生も何を言っているか分からないし、ハーバード大学、オックスフォード大学の先生がそう言うから、そういう風に従ってしまう。偉いものだ。

本当の事は全く地位名誉とは関係無い。人の命が大切なのか？仕事が大切なのか？その教科が大切なのか？人を殺してまでそんな事をしてどうします？という事を今、津々浦々この日本全国でやっている。という事は慈悲の心が全く、一体慈悲とは何も分からない。

だから今度は皆さんを死ぬまで働かすわけです。年金貰ってプラス働いて宜しいと。死ぬまで働いて下さいという事。そして今度は物価を上げると。結局何の意味も無い。

無量の時間帯で体験を通して最高の知識を与えてくれたお釈迦様

【水源師】

私の友人の一人で一生働いた事が無い人がいる(笑)。分かっているから悠然と生きている。

【水源師】

それでまあ奉仕、奉仕で。全日本を足が悪いけれども回って。もう一人明日は私の親友のU君がここに来て。

【司会者】

このビルのオーナーです。

【水源師】

貸してくれて、「使ってくれ」と。彼も一生懸命世の中の為に商売して、こういうビルディングあったら、お前俺の仲で使ってくれと。これが本当の仏法の生き方。無所得の生き方。この実践にあるわけです。それは本当に体得するかしない大問題、ここ（頭）ではなく。

それが実践して行って、行くうちに身に付く事であって、それをお釈迦様が大灯明仏様に会って、スメナという名前で一般の在家の信者だった。「お前は今度、釈迦牟尼仏になって生まれ出る」と。

三阿僧祇劫。仏になるには三阿僧祇劫が最速の速さで仏になるわけ。一阿僧祇劫と言え、一劫が五十六億七千万年という数字で、この宇宙の大きさが140億年。だからもう、この宇宙というのは、140億年とかそういう桁ではない。

（※中国、元時代の数学書によれば一阿僧祇は10の104乗）

何故かと言え、水素が固まって太陽になってそれが圧縮して水素爆弾とか太陽があるでしょう？それが爆発して今度は酸素になると。酸素の太陽。今度は酸素の太陽が固まって今度はカーボンになると。カーボンの太陽が爆発して今度は鉄になると。そうしたらこの地球には金もあれば鉄もあればありとあらゆる鉱物があるでしょう？だからどれくらい爆発して太陽が物質をこの地球を作ったかと。だれも説明していない。理論的におかしいわけです。

ところが宇宙のサイズは大体140億年。ところが三阿僧祇×五十六億七千万年。これこんなことはあり得ないとなるわけ。いや嘘だとなるわけ。ところがこの現実を見ればこの地球には金も出る銀も出るプラチナも出る、それからウラニウムも出る、出るわけがない。この宇宙の話によれば。それが固まってこの地球から出る。これはどういう事かとなりますね。

だから殆ど私たちは化かされて生きていくくらい。家畜の様に。ただ一つお釈迦様だけはそんな事をしない。まあ他の宗教の事をダメだというのではなく、ただお釈迦様はそれだけ進化した方で、それだけ凄い教えを受けられるわけです。

だから、アマゾンジャングルに行けば、そこのシャーマンが最高の先生だからね、もう薬草は知っている、人は助ける。それで脳手術も知っているし、もう凄い神様みたいなものですね。でもそれはそのアマゾンジャングルのそこにしか通用しないわけ。

その方が町に出れば、ただの、のらくれの酒飲みになってしまうと現地の人々が、お話していました。いやいやこれは本当の話ですよ。だからそれは通じないわけ。ところが今話したように、千年先の事もお釈迦様は分かっている。こういう風に。

それで三阿僧祇劫の無量の時間帯で体験を通して最高の知識を与えてくれた。

だから体験しかないわけこの宇宙は。その中で一番大切なのは、やっぱり観音様と私たちがあこがれる慈悲の心なのだけれども、なかなか持てないのが、これが私たちですよ。哀れな生き物なのですよ。金、金、金とか、人をいかに使うか、でなければ如何にしてお金を盗み取るかとか、今この世ではアメリカの方を見ても、嘘を平気で言って如何にして税金を巻き上げて、一部だけが良い思いをすると。

お釈迦様の本当の体験が書かれてあるジャータカ物語

このジャータカ物語を見ればお釈迦様の遠い昔でも最高哲学で、最高の学者たちが王様の代官になって、同じように人から如何にして盗み取るかという事を書かれて、ジャータカこれは本当のお釈迦の体験の事を書かれている。

あまり日本では教えられていないけれども。日本語で書かれた経典もありますけれども非常に簡単に書かれてある。こっちの方が英語版でもっと詳しく書かれていますね。

というのは、こういう話をすれば嘘でしょう？となるわけ。だからまあ話さない方が良く。ところが本当の意味では、私の過去の体験をみればもう時空と言うのは想像を絶する長さで私たちは生きています。過去世を調べて行けば。だから如何にお釈迦様の法髓観というのは、如何に凄い事であるか想像を絶します。

大乘とテラワードは二つ合わさって完成する・「旅」によってそれが分かる

不思議な事にダンマヌパッサナー、ヴェーダナーヌパッサナー、カヤヌパッサナー、この三つの法がミャンマーにあるわけですね。チッタヌパッサナーはボディ達磨様がインドからなぜか中国に持ってきた。それでこの大乘があつて。だから大乘とテラワードは二つ合わさって完成するようにお釈迦様が、二千六百年前に観て作られているわけです。だから対立するべきものではないわけ。旅することによってそれが分かるわけね。旅をしなければ分からない。

なぜかと言えば、エチオピアに行って一番有名なのはラリベラといってね、その昔千四百年前か千六百年前に十字架の形をした石を削り取った巨大な建物があるわけです。神とこのお坊さんと二人で作ったという話なわけですね。私がそこに行って、またそこも高いお金出して、まあ入りたくもないけれどもそこまで

行ったから入って。一体神とはどういう風にしてそのお寺を作ったのかという事で入って見たら、なんとお釈迦様の卍があるわけねそこに。建物は完全にユダヤ教のシナゴグの作り方で内部は。



そこにはタサガタのインドの模様がいっぱい入っているわけ何故か。何と最も凄い事は、その時測ってみたのですよ、巻き尺で、柱の大きさ長さとか。何とUS インチシステム、US インチシステムというのはインチね、寸は 3.03 cm、インチは 2.54 cm、全てインチにピタッと入っている、US インチ。

インチそれはね、1959 年に世界に初めて登録されて世界的なメジャメントと
なっているわけ。それが 1600 前にその建物に 11.5 インチ、10 インチ、8 イン
チ、8 インチそのナンバーが全て仏教の秘密のナンバーで作られている。でま
たインチという事は、1600 年前とアメリカの今と関係ないでしょう？だからア
メリカは皆知っているわけここまで。それが、私がそこに行かなければ分からな
いですよ。その構築物が 1600 年前に綺麗に切っているわけ。ちょうどマチュピ
チュのクスコの遺跡あるでしょう？ああゆう風に一塊ザーッと切っているわけ。

だから私たちは、宇宙人はいないと、そういうものは無いと。じゃあそういう
1600 年前にインチシステムで綺麗に切っているわけ。それも私は工学部だから、
結局グラビティ重力、重力曲線を非常に分かって石がまっすぐではないのです
よ。ぞうさんの足みたいにこうこう切ってあるその昔に。

だから私たちはどこまで、化かされているか分かりませんよ。底が知れない。
人生無駄にしてしまう。まあ今の世の中は全く真逆の事を教えて如何に人をコ
ントロールするかの事ばかりです。

人間の生きていく上で大切な事

それで今この日本の大問題は、高齢化が激しくて地方に行けば三人に一人が
老人。65 歳以上。私がちょっと町を歩いてしまったら三十人四十人いたら若者
が三人か四人後は全部老人が歩いている。

私の幼稚園からの幼馴染み、「お前これどうするんだ？」って、お医者さんだ
からね、大きな病院を持っている。「いやあどうにもならない」って、「もう手遅
れだ」という事は、もう政治が全部ほったらかしているわけです。働かせてほっ
たらかすと。じゃあ金が無ければ死ぬまで働いて下さいという事なのです。

だからキリスト様がこう言ったわけ「その鳥を見て下さい」と「彼らはね、鳥
はパンを求めて生きていない、自由に飛び回って生きている」と「人間も鳥のよ
うにお金と食べ物のためだけに生きるべきではない」と。

ところが今はもう金が無ければ死ぬようなシステムにしまっているでし
ょう？私がこれから山（エクアドル、ビルカバンバ）に入るそこは、2 キロのト
マトが 100 円なの、野菜一束が 25 円なわけ。それもオーガニック。じゃあ何の
ために働くかという事になりますね。まあ 100 万円あってそこで暮らせば一生
左うちわで暮らせるとなります。

という風な所もあるわけです。赤道直下の高地だから年がら年中一定の温度
で、暮らしやすくて 23℃。年がら年中花が咲いて果物があるという所があるわ
け、この世の中に。ところが日本から出れば危ないし、何とか言葉も出来ないし、

もう完全に足かせ手かせでそれから目かせで見せない。

日本から出なさいという事ではないですよ、その改革する余地があるのだけれども、結局政治が全然頭が無いものだから、どうしたら良いかアイデアが出ていないし、選挙、選挙でいかにお金を集めるか ばっかりだから。もう勉強する余裕もない。

そういう風に皆グルグルグルグル回っているから、お互いに私たちは日本では首を絞め合う様な状態を作っていると。特にお隣の中国が今度は 2700 兆円の GDP でしょ。もう今年アメリカを追い抜いてしまった。

という風にお坊さんは全てそういう事まで分からなければいけない。というのは人の命が大切だから。如何にして皆さんがそういう大嵐の中でも生きて行くかという事を示して、初めてこの勉強が出来るでしょう？物が食えなくてどうして勉強が出来ますか？

だからそこまで考えてあげないといけない。無駄な事はしないようにと。南国に行けばねマンゴー一つあれば十分なのですよ。私そうして暮らしましたよ、マンゴー一つで十分。本当に十分。100 円あればね、大きなマンゴー四つ買えます。食べきれない。

まあそういう世界もあるからね。ところが外国に行ってそういう所で日本の素晴らしい文化から離れ出ていたら、離れたくないところが良いとなれば、まあどっちになるかという事なわけですね。

じゃなければ日本の国から全部出て行かれたらどうします？今でも外国の若者入れなければいけないし、福島原発の処理もあるし、老齢で働いて、それでも外国の人が来ても日本語が出来るわけではないし、ツーカーで行かないから、今度は老人に死ぬまで働いて下さいという。年金貰ってプラス働いて大丈夫。

ところが政府は税金取るからね。あなた、所得税。この所得税というのは、戦争税金であって。昔は、所得税はなかったのです。アメリカは、戦争の為に所得税で払って下さいと。戦争が終われば所得税無しで前の様に所得税無しで行くという。

ところがどんどんどんどん色んな所得税上げて、上の方はぼろ儲けで行くわけです。だから所得税自体がおかしいわけ。ところがもう払うものだと思うから全然疑問が無いしね、皆さん。自分が働いて何で税金納めないといけない。それは国の問題であってね。だから昔は税金なんて無いし、エチオピアなんて税金なんて取れる状態では無いし、働いたものは全部自分の物微々たるものだけれども税金無し。かと言ってそうしたら道路とか鉄道とか無いけれども、プレッシャーかけられないわけ、そんな事をしたら皆死んでしまうからね、そういう国では。

そういう国では食べ物が素晴らしいですよ。私は食べるものがトマト、ジャ

ガイモ、ニンジン、玉葱その四つくらいしかないからね、それで一ヶ月スープを作って食べたけれどももう身体は健康体、全然問題なしでした。たっぷり栄養が入っている。特に一番美味しかったのは、エチオピアのビール。若い娘さんが飲でたので、娘さんが飲むのだったら私も飲みたいって飲んでみたら、なんとこれだけ美味しいビールはない。

そのビールの値段が水より安いわけです。という風にどこにでも楽しいところがあるわけですね、そういう風に。そこでは麦とかそういう穀物が栄養価たっぷりなわけ。だからちょっとそれをこう炒るでしょう？お菓子みたいになってね、私が少し買えばもう手いっぱいくらい。一日では食べられない。栄養がいっぱいあるから、口で食べたら美味しいし。それで旅がどこまでも出来るわけです。

という風に、旅の醍醐味でそういう風に精神界求めて歩いて行けばご褒美がいっぱい来るわけ。自分だけ食べても美味しくないからこうして皆さんと一緒に。という事で増々楽しくなるわけ。

というのはこの世は自我というのは無い、全て無我、アナッタ、自我になるから病気を起こすわけです。という事が明快にこのお経の中に書かれているのだけれども、これがなかなかまた分からない。というのは整数と無限の関係が未だに大数学者も証明できないから。そこを通過した事をここに書かれてある明快に。分からないのが当然、だってそういう教を受けてしまっているのだから仕方ない。それを一切捨ててしまってもやれと言ったってなかなか難しい問題で。まあそういう事でいいでしょうか？

【司会者】

はい、ちょうど一時間。

【水源師】

一時間。じゃあ明日のお楽しみに。

明日はこの金剛般若波羅蜜多經の中身を少し解説して、阿耨多羅三藐三菩提にどうして行けばいいかという事ですね。

はい、じゃお疲れ様でした。

回向文の説明

説明します。つまりアナタであるから貴方が本当に修行を成功すれば全てが成就します。それがアタ、自我であればならない。ところが皆さんはアタという考えがあるから、どうしてみんなと一緒に成仏できるかと。実態はアナタ（無我）であるから、本当はあなたが成仏すれば全てを救ってしまう。という不可思議な

大世界。だからどんな事があっても、色んな障りがあってもほっといて結局はあなたが全てを救ってしまうのだから。そうして修行して行けば。

【司会者】

はい。

【水源師】

それでは、

日本語は面白いね、「あなた（パリー語で無我を意味するアナタ）」だってね、アタ、アナタ。面白いよ。

はい。



水源禪師法話集 104

(2019 年 4 月 19 日 大阪合宿 1 日目)

2019 年 6 月 2 日発行

編集兼発行 一乗禅の会